

令和4年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和4年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

1 がん予防・検診受診率向上事業 女性の健康をサポートするポータルサイトを活用した普及啓発

女性の健康をサポートするポータルサイト「TOKYO #女子けんこう部」（令和3年2月開設／令和4年1月リニューアル）

- 内容：女性が、健康な生活や女性特有の病気などについて手軽に情報を入手できるポータルサイト
- 目的：女性の自らの健康に対する意識づけを促し、女性に特有の疾患の予防・検診受診等の行動変容につなげる。
- 特徴 無関心層も興味を持ちやすく分かりやすい、イラスト等を用いた解説（人気マンガ家・ミツコ氏を起用）
病気や健康課題に関する基本的な情報の解説と、正確かつ詳細な情報を掲載した専門サイトの紹介



掲載テーマ	R3
子宮頸がん(HPV、検診、精密検査、インフルエンサーによる啓発動画)	拡充
乳がん(乳房のセルフチェック、検診、精密検査、高濃度乳房等)	拡充
大腸がん(大腸がんのこと、予防法、検診、精密検査等)	新設
こころの健康(ストレスとの付き合い方、女性のこころの変化、相談窓口等)	新設
喫煙(喫煙の有害物質、健康影響、妊娠・出産への影響、禁煙方法等)	新設
飲酒(女性の適度な飲酒量、上手なお酒との付き合い方等)	継続
食生活(やせにならないための健康な食生活、外食・中食の工夫等)	継続
健康関連情報(都作成の健康、医療、妊娠・出産等のサイト紹介)	新設



➤ 「TOKYO #女子けんこう部」を活用し、子宮頸がん、乳がん、大腸がんに関する正しい知識、予防、検診受診の重要性、普段と異なる体調の変化を感じたら速やかに医療機関を受診する重要性などについて継続的な普及啓発を展開し、行動変容につなげる。

☞ 「TOKYO #女子けんこう部」の拡充とサイトへ誘導するための広報展開

女性の健康問題に関する基礎知識や関連情報をサイトに掲載し、定期コラムの配信により継続的な情報を発信する

☞ 「TOKYO #女子けんこう部」の活用による対象者層を絞った普及啓発

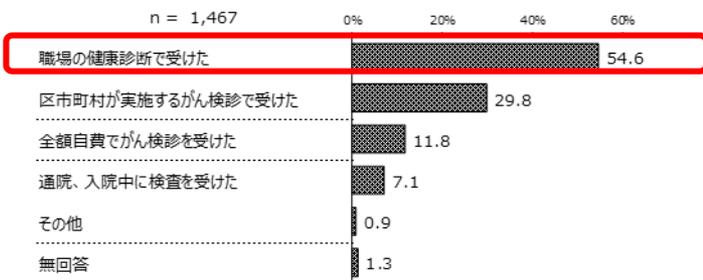
参加型オンライントークイベント等の開催(子宮頸がん・乳がん)、WEB広告の掲載(乳がん・大腸がん)、女性の健康週間 等

検診実施体制の整備 職域がん検診精度管理向上支援事業【新規】

【現状と課題】 ※以下のデータの出典は全て「平成30年度東京都がん予防・検診等実態調査」より

- がん検診を受けた都民の**5割**が、企業や健康保険組合が実施する**職域のがん検診**を受けており、**職域におけるがん検診は、都民の受診機会の確保において重要な役割を担っている**（図1）。
- 職域のがん検診は、法的根拠がなく、事業者や保険者が福利厚生の一環として任意で実施している。このため、**検査項目や対象年齢等、検診の実施方法は様々であるのが実態である**（図2）。
- 国は、職域におけるがん検診を適切かつ効果的に行うためには、事業主や保険者ががん検診を任意で実施する際に、「**職域におけるがん検診に関するマニュアル**」を参考とすることが望ましい、としているが、**マニュアルの認知度は低い**（「知らない」と回答が92.1%）。

（図1）胃がん検診の受診機会



（図2）企業が従業員に実施する乳がん検診の検査方法



国はエコー検査・視触診検査は非推奨
(マンモグラフィ検査のみ推奨)

- がん検診はがんの死亡率が減少する効果があると科学的に評価された実施方法により適切に行われることが重要。特に都民の受診機会が最も多い、**職域におけるがん検診が適切に実施されることが重要**。
- 職域のがん検診について、**職域マニュアルの認知度を高め、がん検診が適切な検査項目、対象年齢等に基づいて適切に実施されるよう、職域のがん検診事業に対する支援が必要**

➤ 職域のがん検診事業担当者に対するオンライン講習会の開催

適切ながん検診の重要性や精度管理の方法等を職域マニュアルに基づいて解説。また、都作成のeラーニング教材や普及啓発資材の活用を促す。

- **受診勧奨用の啓発資材(がん検診ハンドブック(仮称))の作成・提供**
実施主体が検診対象者に受診勧奨のために配布する啓発資材(デジタルブック)を作成し、活用を促す。

- **検診実施上の課題を把握し、課題解決に向けた支援策等について検討**

